



「全てが必然」

2学期がスタート！ 学校に再び活気戻る・・・

異常な暑さで様々なところで「酷暑」という言葉が頻繁に使われた「平成最後の夏」でしたが、**登校してきた生徒たちは元気いっぱい**です。背が高くなった生徒や日に焼けた生徒も見られ、たくましくなったように感じます。始業式は体育館で行いましたが、**PTAのバックアップで冷風機を寄贈いただき**、恵まれた環境の中で行うことができました。**本当にありがとうございました。**

そのおかげか、生徒はそれぞれの先生方の話に真剣に耳を傾け、立派な態度で2学期のスタートを切ってくれました。やや眠たげな眼をした生徒も見られましたが、どうやらぎりぎりまで宿題と格闘していたようです。**何であっても最後まで粘り強くやり遂げようとする姿勢は今後も大切にしてほしい**と思います。



冷風機

さて、始業式の様子的一端を少し紹介させていただきます。

□ 「聞く」から「聴く」へ・・・

学力向上担当の本郷指導教諭が、学力・学習状況調査の結果等を踏まえ、2学期から取り組むべき重点を生徒に説明しました。まずは授業規律の徹底です。当たり前のことが当たり前に行えるよう、「**授業の約束3**」をつくり、どの授業でも落ち着いた環境の中で安心して学習に取り組むことができるよう、徹底していこうと呼びかけました。その約束の一つに「**話を聴き、発表**」があり、先生の話も、クラスの友だちの話も、耳だけで「聞く」のではなく、**耳、目、心で「聴く」ことを大事にしてほしい**と説明しています。（「聴」の漢字には確かに耳、目、心が含まれています）その話を生徒は本郷先生の方に体を向け、頷きながら聴いている姿が見られます。

今後も期待したいです！

※「授業の約束3」は裏面に記載します



「授業の約束3」の説明



体の向きを変えて・・・
目、耳、心で聴いているかな

□出る杭は「打たれる」ではなく、「求める」!

続いて、生徒指導担当の原先生の話です。始業式ではいつも校歌を歌うのですが、今夏の甲子園での金足農業高校（試合終了後、体全体を使って全力で校歌を歌うことで有名になりました）に影響されたのか、大きな声で校歌を歌う生徒がいました。周りの生徒は少々びっくりしたのか、歌いながらその生徒に注目しています。大きな声で歌っていた生徒は気恥ずかしさもあり、途中からは少し声量がダウンしてしまいました。

その場面を捉えて、始業式後、原先生は「**出る杭を求める!**」という話をしたのです。**何かを変えよう、改善しようとするときは、今までとは違った取組が必要**ですが、それにチャレンジした人を批判まではしないものの、応援したり、支えたり、共に行動したりすることができないのが少々寂しいと話し始めました。一緒に大きな声で歌う生徒がいれば、もっと気持ちの良い校歌になったのではないかと、そして、**一生懸命頑張っている人を、みんなの前で勇気をもって「出る杭」を先生は大切にしたいし、みんなにもそうしてもらいたい**と熱く語りかけました。

原先生の口癖は「命を大切に」と「安心、安全」です。「安心」というのは、誰の前でも発言でき、行動でき、チャレンジできることではないかと……。本当に大事なことです。授業中、間違えてもいい、安心して発言できる、そしてその発言を温かく聴いてくれるクラス、学年にしていきたいですね。**出る杭は「打たれる」のではなく、「求める」**、そんな学校にみんなで行っていきたいと思います。

★頑張ってます!

- 校歌を歌う前に、ちょっとしたウォーミングアップをすることがあります。中学校ではどの学校でもよくある話で、音楽担当の先生が前へ出てきて指導するのですが、我が校は最近、生徒が前へ出てきて、声出しを行っています。音楽が堪能な生徒ではありますが、今まで勤務した学校でそんな光景は見たことがありません。

生徒が自主的・主体的に行う姿は頼もしい限りです。みんなのために活躍してくれている3年生有志に心から感謝します。

- この夏、先生たちもみんなでどのようにしたらもっと学力を伸ばせていけるだろうかと、学力調査の問題を解きながら、2学期からの具体的な取組を教科ごとに分かれて真剣に話し合いました。生徒にとって難しかった問題の解きなおし、類似問題を作成して小テストや定期テストで学力の定着を図るなど、様々な取組を考えています。



社会科部会



理科部会

授業の約束 3 早島中学校

①チャイム 1 分前準備完了

チャイムが鳴ると同時に授業をスタートできるように、1 分前には準備を完了して席についておいてください。休み時間のうちに、教科書やノート、宿題、ファイル等、授業で使うものすべてを用意し、机の上に置いておきましょう。普段から、忘れ物をしないように、デイリーライフにきちんと準備物を書いておき、宿題をやっておきましょう。

②TP0 をわきまえた発言

Time(時)、Place(場所)、Occasion(場合)に応じた発言をしましょう。具体的に言うと、

- ・ 当たり前のことですが、授業中は授業に関係のない話(私語)をしてはいけません。
- ・ 先生が「○○についてどう思う?」と聞かれたときに、思ったことをすぐに発言してはいませんか。積極的な姿勢は一見、良いことのように思えますが、そうすることによって、クラスの人がじっくり考えたり、調べたりする機会が失われてしまいます。授業はみんなのものです。先生の質問には、自由に話し合いをしてほしいとき、起立してもらって1人の意見をみんなですっきり聞きたいとき、テンポよくどんどん発表してもらいたいとき、等それぞれ意図があります。先生の指示に従って、発言するようにしましょう。
- ・ クラスの人が発言した内容について、間違いをばかにして笑ったり、からかったりするような発言をしてはいけません。授業中は間違えた発言 Welcome!! です。間違えることによって、そこでじっくり考えたり、きちんと確認をすることができます。間違いを恐れず、誰もが安心して発言できるような、あたたかいクラスであってほしいと思います。

③話を聴き、発表

先生の話はもちろんですが、クラスの人々の発表もしっかり聴きましょう。人の発表を聴くことで、自分の考えと同じだなと共感したり、違いを発見することでさらに、学びが深くなっていきます。発表のときに、「○○さんの意見を聴いて、わたしは、さらに△△だと思いました。」などと発表できたらいいですね。